「ソ・ラ・ノ・ヲ・ト」と歌詞世界のリンクに注目のOP

Kalafina 3年目の挑戦「光の旋律」



●カラフィナ／プロデューサー・梶浦由記のもとに集まったWakana、Keiko、Hikaruによるボーカルユニット。スカパー！ STAR digio 400chでレギュラーラジオがスタート。2月23日からツアーを開催

空に響くようなメロディ。Keikoの成長を感じさせる、それは今年最初のハーモニー」。新曲「光の旋律」は、民族音楽ふうのリズムに優しいメロディを乗せた、意欲的な楽曲だ。

「今までKalafinaの曲は3声のコーラスを生かしたメロディが多かったんですが、今回は3人で楽しんで歌うことを中心にした曲になっていて、すごく新鮮な気持ちでした」(Wakana)

「曲はキラキラしているんだけど、歌詞がすごく印象的で、悲しい世界でも歌は必ず誰かに届いているという気持ちを意識しました」(Hikaru)

「優しいメロディであり、励まされる歌詞だと思いました」(Keiko)

今回の楽曲はアニメ「ソ・ラ・ノ・ヲ・ト」の主題歌としてオンエアされる。

「『ソ・ラ・ノ・ヲ・ト』は楽器が登場するアニメで、『和音』や『音』といった言葉を感じさせる単語が出てくるんです。そのリンクが楽しみです」(Wakana)

「登場人物は女の子がいっぱいで、曲のかわいらしいイメージと似ていると思うんです。作品を[illegible]した曲になるといいなと思います」(Keiko)

「アニメの物語が進んでいくうちに、きっと私たちの曲の印象も変わっていくと思うんです。その変化が、自分たちでも楽しみです」(Hikaru)

Kalafinaが活動を始めて3年目。3人のコンビネーションも固まり、ユニットとしてだけでなくそれぞれの個性を発揮する場面も出てきた。

「私の中ではHikaruはなごみ系。まとめるのがKeiko、水をかける私っていう役割分担です」(Wakana)

「基本的に私はマイペースなので自分の言いたいことを言って2人にまとめてもらってます(笑)」(Hikaru)

「ステージとプライベートだと役割が変わるんです。プライベートだと、末っ子育ちの私はかなりWakanaやHikaruに甘えちゃってますね。だけど、ステージでは2人があまりに自由すぎるので(笑)、私がまとめるような役割で頑張ってます」(Keiko)

それぞれの個性があるからこそ、そこに彼女たちならではのハーモニーが生まれる。Kalafinaの活躍の場は今年もさらに広がっていきそうだ。

Text by HIDEKUNI SHIDA



「光の旋律」
Kalafina
SMEレコーズ SECL-836/7
(初回限定盤) 税込1575円
1月20日発売

カップリングは神秘的なバラード「sapphire」。初回盤には「光の旋律」のビデオクリップ等を収録したDVDが付く